

「北区の未来予想図」ワークショップ結果報告書（案）

1 はじめに

北区では、人口減少に対応する持続可能なまちづくりを進めていくためには、北区に“住みたい、住み続けたい”と思える魅力あるまちづくりが必要だと考え、区長もマニフェストにも掲げ、重点的に取り組んでいます。

今回、各地域から子育て世代の方々にお集まりいただき、20年後の北区の未来について意見を交換し、今の子供たちが大人になった時に、住みよいまちをつくりたい、子供たちがこの北区に残りたい、また、戻ってきたいと思えるまちにしたい、そんな子供たちが幸せに暮らしてほしい親世代、子育て世代が、その思いをデザイン（構想）にして提案してくれました。

2 ワークショップメンバー

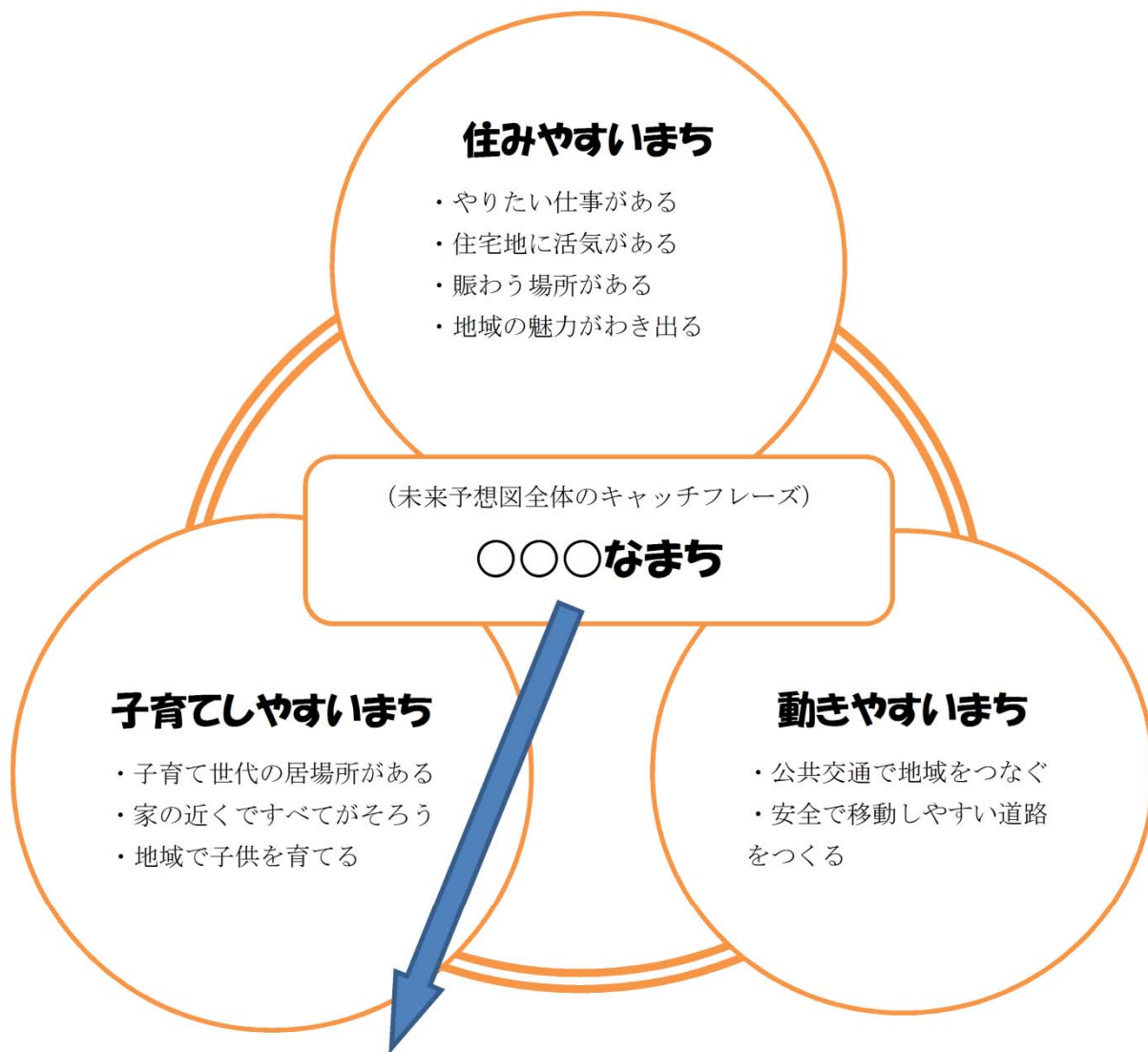
区内8コミュニティ協議会から選出した子育て世代 16名（男性8名、女性8名）

3 開催状況

- | | | |
|-----|-----|--|
| 第1回 | 日時 | 平成28年9月28日（水）午後7時～9時半 |
| | 会場 | 早通コミュニティセンター（いするぎ荘） |
| | 議題 | ①北区はこうなればよくなる ②北区の強みと弱み |
| | その他 | 区長提案「20年後の新潟市の状況と取り巻く環境」、自己紹介 |
| 第2回 | 日時 | 平成28年10月26日（水）午後7時～9時 |
| | 会場 | 葛塚コミュニティセンター |
| | 議題 | ①未来を地図にデザインする ②課題の多かった公共交通、子育て、働く場・観光をテーマに3グループで討議 |
| 第3回 | 日時 | 平成28年12月7日（水）午後7時～9時 |
| | 会場 | 葛塚コミュニティセンター |
| | 議題 | 報告案、未来予想図のデザイン案の検討 |
| 第4回 | 日時 | 平成29年1月25日（水）午後7時～9時 |
| | 会場 | 早通コミュニティセンター（いするぎ荘） |
| | 議題 | 報告案の検討、北区役所新庁舎整備に向けた提案 |

北区の未来予想図

ワークショップ理念図



未来予想図全体のキャッチフレーズ

○「ちょうどいいまち北区」

(どこに行くにも便利、ちょうどいい。満たされる。)

○「^{きょうそう}共創するまち」

○「いきたくなるまち」

(行く。生きる。来たくなる。帰宅。)

《区役所新庁舎整備に関する意見》

- ・ 公民館とコミセン、区役所を一体化し一つの建物で用が足せば楽になる。
- ・ さわやかセンターとコミュニティセンターをつぶして図書館と渡り廊下で結び、廊下に学習スペースを。
- ・ 公民館とコミュニティセンターは現庁舎新館に。
- ・ 博物館をなくして展示スペースを新庁舎に設ける。
- ・ インパクトのある、明るい建物がいい。
- ・ 遠くからも目立つような高い建物。
- ・ 堅苦しくない入りやすい施設。
- ・ 多機能な施設。
- ・ パーテーションで区切ってフレシブルに。区民・職員が利用しやすく。
- ・ メンテナンスしやすくレイアウト変更しやすい工夫を。
- ・ 周りを気にせずに相談ができるような工夫を。
- ・ 北地区スポーツセンターのような、人の目が届きやすいちょっとした子供を遊ばせるスペースがあるといい。
- ・ 展望スペースがあるといい。
- ・ 学生などが勉強できるスペース。
- ・ ハローワークや法務局など国県の機能もあるといい。端末などでも可。
- ・ 一般の人でも利用できる食堂があるといい。その食堂で地場産のものを使って日替わりメニューや農作物フェアなどできるように。
- ・ 多目的フロア・防災拠点のフロアが必要。
- ・ 文化会館の練習室が足りないので防音のしっかりした貸しスペースがほしい。
- ・ 飲食スペースやコンビニがあるといい。
- ・ 北区内にあるものを区役所で体験できるようになっているといい。
- ・ 温泉施設があるといい。
- ・ 駐車場を広く確保。障がい者に配慮した駐車場。
- ・ バス停など屋根付きにし天候を気にしなくてもいいように。
- ・ 季節ごとにイベントができるといい。
- ・ イルミネーションをつけてにぎやかに。
- ・ 現庁舎も位置がわかりにくい。標識等で分かりやすく。
- ・ 情報発信拠点に（区役所がいいのか駅などがいいのか検討が必要）。
- ・ 堅苦しいイメージがあるのでコスチュームを変えたらどうか。